

山形県交通安全母の会連合会
第44回山形県交通安全母の会大会 開催要綱

1 目的

交通安全に果たす母親の役割の重要性を認識し、「交通安全は家庭から」の基本理念のもと、自主的な交通安全実践活動を強力に推進し、交通事故のない豊かで住みよい郷土を実現する決意を新たにするため、山形県交通安全母の会大会を開催するものである。

2 日時

令和8年9月4日（金） 午後1時から午後3時30分まで

3 場所

新庄市民文化会館 新庄市堀端町4番67号 TEL0233-22-7029

4 参加団体及び人員

県内交通安全母の会会員及び各市町村交通安全関係者 約250名

5 大会要領（次第）

- ・ オープニング・セレモニー（13：00）

山形県警察音楽隊による演奏

新庄民話の会による民話語り

- ・ 開会のことば（13：40）

- ・ 山形県民の歌斉唱

- ・ 交通事故犠牲者に対する黙とう

- ・ 大会会長あいさつ

加藤 澄子 山形県交通安全母の会連合会長

- ・ 交通安全功労者表彰

- ・ 歓迎のあいさつ

山科 朝則 新庄市長

- ・ 来賓祝辞

山形県知事 （代理 齋藤 千賀子 最上総合支庁長）

山形県議会議長

山形県警察本部長 （代理 塚本 高弘 山形県警察本部交通部長）

- ・ 来賓紹介

- ・ 大会宣言

～ 休憩 ～

- ・ 記念講演

演題 講話 「防災はひとつとではない」

講師 新庄市 地域防災マネージャー 大沼 光 氏

- ・ 閉会のことば（15：30）

山形県交通安全母の会の概要

1 設立の経緯

昭和41年、当時の交通情勢を背景に、全国的に交通安全母の会設立の動きが高まり、同年12月、県内の交通安全母の会の連合組織として設立。

2 目的及び活動

基本理念「交通安全は家庭から」

関係機関団体との連携を密にしながら、交通安全意識の家庭浸透を中心に、広く交知道徳の高揚を図り、交通事故のない明るい社会の実現に寄与することを目的とする。

主な事業活動

- ・ 各種交通安全運動への協力及び地域での交通安全活動の実施
- ・ 交通遺児に対する激励金給付事業
- ・ 高齢者世帯訪問による夜光反射材の普及
- ・ 小学生が高齢者に交通安全のはがきを送るハートフルメール事業

3 構成団体

21団体（庄内地区は旧市町村単位に母の会を組織）

会員数合計（令和8年3月末時点） 69,009人

※ 会員は各市町村母の会の定めによる

4 第44回交通安全母の会大会来賓名簿

	来賓役職名	本人 代理	代理出席来賓役職	出席者
1	山形県知事	代理	最上総合支庁長	齋藤 千賀子 様
2	山形県議会議長	本人		田澤 伸一 様
3	山形県警察本部長	代理	山形県警察本部交通部長	塚本 高弘 様
4	新庄市長	本人		山科 朝則 様
5	新庄警察署長	本人		太田 善久 様
6	山形県交通安全協会長	本人		佐藤 光子 様
7	山形県安全運転管理者協会長	代理	専務理事	安達 秀典 様
8	前山形県交通安全母の会会長	本人		松田 聖子 様